

遺構の調査がすすんでいます！

まだまだ暑い日が続いていますが、高茶屋大垣内遺跡では表土掘削がすべて完了し、現在は遺構の検出(見つける作業)と掘削に入っています。古墳時代の遺構(昔の生活のあと)が見つかり、焼失建物(燃えてしまった竪穴建物)や倉庫と思われる掘立柱建物などが確認されています。

これらの遺構は9月30日(土)に開催する現地説明会でもご覧になれますので、ぜひこの機会にお越しください。詳細については三重県埋蔵文化財センターのホームページをご覧ください。

また、8月18日(金)には研修の一環として、津市教育研究会社会科部会の先生方が調査現場を見学していただきました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！



これは古墳時代前期(約1,700年前)の竪穴建物です。床面からは炭になった木材が多く出土し、なんらかの理由で燃えてしまったことがわかります。



これは古墳時代前期(約1,700年前)の土坑(あな)です。多くの土師器とともに焼かれた土の塊が出土しており、土器作りに関する遺構の可能性がります。



これは古墳時代中後期(約1,500年前)の掘立柱建物です。重量物に耐えられるよう建物の内側に床を支える柱をすえており、穀物を入れる倉庫だったと思われます。



36名の先生方にご参加いただき、発掘調査現場の様子や現在の進捗状況についてご見学いただきました。

お問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 三重県埋蔵文化財センター

担当:調査研究 | 課 樋口・長谷川・佐藤

電話: 0596-52-7028 FAX: 0596-52-7035